

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月31日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ 職員数:7(パート含む) 回収数:7 割合:100%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1			基準を満たした定員とスペースを確保しております。
	2 職員の配置数は適切である	3	2	2	職員体制が悪いです。サブなし対応時の安全管理が疑問。足りない時があると感じる。	配置基準を満たした職員数ではありませんが、急遽の休みが出た場合サブの対応が難しいことある為、職員の配置方法については不測の事態に対応できるよう配慮いたします。職員の募集も引き続き行っております。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	1	問題は無いが段差や階段が多いためされているかは不明	設置基準を満たしておりますが、建物の構造上階段や段差が多くあります。車いすで来所するなど階段の上り下りが難しい利用者さんについては1Fでのレッスンに固定するなどの対応を行っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	4	0	種目の中でとり入れていると思う	定期的にミーティングを行っており、その中で業務改善を行うための話し合いをしています。今後もさらに職員全員が参画できるよう続けて開催します。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2			過去の自己評価についてはホームページに掲載しています。ぜひご確認ください。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4			現在、既に第三者委員会を設置しております。ただし、外部評価についてはまだ受けていないため、今後は実現していきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	0	ワークやチューターが機能してない。研修があった	・月1回の所内研修、また不定期のワークを開催していますが、常勤職員だけの参加のことが多いため、今後は全職員が参加する機会を作っていきます。
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7					

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月31日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ 職員数:7(パート含む) 回収数:7 割合:100%

	チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	1		サポートノートえいぶるからアセスメントシートとして活用しております。また研修等でお子さんの状況を確認するための視点についても共有していますが、今後も継続してまいります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	1		ワークや研修等で新しいプログラムの立案を行っていますが、今後も定期的に話し合いが行えるようにします。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2		なるべく活動の幅を広げていると思う	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	4		小集団はできているが個別では曖昧。	個別レッスン終了後にはメイン・サブコーチで内容について振り返りを行っています。レッスンの終了時間によっては次のレッスンが始まる場合があるので、時間通りにレッスンを開始・終了できるように心がけます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3		気づいた点は共有していると思う	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		毎レッスン取っている	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1		定期的に行っている	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	3			ガイドライン上の①自立支援と日常生活の充実のための活動、②創作活動、③地域交流の機会の提供、④余暇の提供の中からレジスポや利用者のニーズに合った活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っております。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1			管理者や児童発達支援管理責任者を中心に会議へ参画しています。内容については常勤職員で共有していますが、必要に応じてパート職員にも共有できるようにします。
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1				

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月31日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ

職員数:7(パート含む) 回収数:7 割合:100%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	2			医療ケアが必要なお子さんがいた場合、必要に応じて保護者さんを通じて連携を図ります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2			管理者や児童発達支援管理責任者を中心に会議へ参加して情報共有しています。内容については常勤職員で共有していますが、必要に応じてパート職員にも共有できるようにします。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	5			必要に応じて情報提供を行います。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2			・過去、沖縄県発達障害者支援センターの研修を受けていましたが、今年度の参加がないため、今後は積極的に助言や研修の機会を設けていきます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3			サークルやスクール活動で障害のない子(兄弟、いとこ)を受け入れております。また、地域のスポーツクラブとのスポーツ交流ができるように企画調整していきたいと思ひます。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4	1		児童発達支援管理責任者が定期的に行われる西原町の連絡会(自立支援協議会こども部会の準備中)へ積極的に参加しています。内容について事業所内で共有したいと思ひます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5			・過去にペアレント・プログラムを開催していた経験のある職員を中心に、今後企画していく予定です。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2			全ての利用者さんへ契約時に内容を説明しております。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			コミュニケーションの中で支援している姿が見られている	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1			保護者懇談会を毎月テーマを変えて開催しています。今後は多くの職員にも参加いただきながら共有したいと思ひます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1			毎月月刊レジスポを配布し、ホームページやInstagramでも広報しております。ぜひご確認ください。
	35 個人情報に十分注意している	6	1		名前が入っているものはシユレッターにかけている	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月31日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ 職員数:7(パート含む) 回収数:7 割合:100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	2		現在地域住民と交流する機会はありませんが、今後地域のイベントや交流する機会等があれば地域連携を検討していきます。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2			避難経路については各レッスン室に掲示しており、避難訓練も定期的を実施しておりますが、勤務の都合で参加できない職員もいるため全員で共有できるようにします。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1			身体拘束については緊急やむを得ない場合を除いて行っておりません。契約時に同意書をいただき、今後必要な利用者さんがいた場合は個別支援計画にも記載することがあります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3		アレルギーの事前に聞いて いる	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2			ヒヤリハット事例集を全職員で閲覧共有できるようにします。